

畑を埋め尽くすピンクのグラデーション 宮原コスモス畑おもてなしイベント

11月4日、宮原地区のコスモス畑で開催されたおもてなしイベント。香春の秋の観光スポットとして人気のあるこのコスモス畑は、宮原地区営農組合が約3.4ヘクタールの田んぼに種をまいたもので、およそ130万本の花が田んぼ一面を彩りました。今年は地元住民や道の駅香春、JAたがわなどの協力により初のイベントを開催、特産品や美味しいジビエ料理などが販売されました。訪れた人たちは見渡す限りのコスモス風景に思わず目を奪われ、のんびりと眺めたり、写真撮影をしたりと楽しんでいました。



▲一面のコスモス畑の中を歩く来訪者

採銅所駅に迎春ムード高める門松

採銅所駅の手作り門松

12月13日、JR採銅所駅に正月の縁起物である門松が飾られました。大きな竹に松や梅、ナンテンなどであしらわれ、一足早く新年の雰囲気を出す門松は、日吉政俊さん(採銅所3区)が中心となって手作りされたもので、平成27年のJR日田彦山線・採銅所駅開業100周年を記念して飾られ始め、今回で4回目を迎えます。日吉さんは「何も知識のない状態からの手探りで始め、今年はどうな門松を作ろうかと楽しんでいる。駅に来る人に迎春気分を楽しんでほしい」と話してくれました。



▲門松のレイアウトを真剣な表情で考える日吉さん

豊穡を祝い感謝を捧げる食と酒と演舞の饗宴 とよの国まつり

12月16日、古宮八幡神社で「とよの国まつり」が開催されました。当日はあいにくの雨模様でしたが、境内では出店やキッチンカーなどが立ち並び、来場者の冷えた体を温める美味しい料理が販売され、拝殿では赤村の「大内田神楽」、嘉麻市の「弥栄神楽座」、高千穂の「下田原神楽」が奉納されました。鬼の荒々しい舞が披露された「大内田神楽」、鬼に抱かれ大きな声で鳴く赤ん坊は元気に育つと言われており、鬼が観客席に子どもを奪いに来るシーンでは会場にひととき大きな歓声が沸き起こっていました。



▲拝殿を縦横無尽に動く荒々しい鬼の舞



◀鬼とのツーショットにちょっとだけ緊張気味な子ども

1～3歳の笑顔募集中!

2月生まれは1月15日(火)締切です。

お誕生日の記念にお子さんの笑顔を広報紙に掲載しませんか。来月に誕生日を迎え、1～3歳になるお子さんの写真を募集します。

お子さんの写真(デジカメの場合はデータ)に50字程度のメッセージを添えて、役場2階まちづくり課広報担当(☎328408)に持参、または電子メール(koho@town.kawara.fukuoka.jp)で送ってください。



QRコードからも送れます▲

IHで快適キッチン

九州電力からIHクッキングヒーターの寄贈

11月26日、九州電力株式会社から香春町へIHクッキングヒーター2台を寄贈いただきました。オール電化の普及活動をする当



▲様々な機能の説明を聞く川村さん(右)

室が活発な香春町で多くの人にその良さを知ってほしいと期待を込めて寄贈。実際に使用した川村恵子さん(下高野2区)は「掃除も簡単で、色んな機能があってとても使いやすい」と話してくれました。

花と笑顔があふれる町

花いっぱい運動

12月13日、勾金小学校5年生の児童たちが「花いっぱい運動」の一環として、毎日交代でお世話をした花を役場玄関に飾りました。梅林蒼さん(右)、森元凜さん(左)



▲飾った花と一緒に映る梅林さん(右)、森元凜さん(左)

は「朝の音楽放送で今日も一日頑張るぞとスイッチが入ります。今日飾った花を見て、役場に来る人にも元気を分けたいです」と話してくれました。

命を使うと書いて『使命』

人権啓発講演会

12月5日、香春町町民センターで人権啓発講演会が行われました。講師の道志真弓さん(語り家)による「命の重さ～家族の絆を通して～」を題した講演では、不妊治療の末授かった娘が世界でも37例しかない染色体異常と診断され、それでも娘を囲んで過ごした笑顔の絶えない楽しかった日々を語ってくれました。道志さんは「娘のゆみかは、きっと皆さんに命の大切さ、生きているってことだけで幸せなんだよと伝える『使命』を持って生まれてきた」と最後に語り、会場の皆さんは道志さんの話に聞き入っていました。



▲当時の様子が鮮明に分かるように語る道志さん

手に汗握る球児たちの健闘

福岡県中体連新人野球大会

11月23日、北九州市で開催された「福岡県中体連新人野球大会」。本町から田川地区1位、筑豊地区2位の成績をおさめた



▲力を合わせてプレーや応援をしたチームメイトとの集合写真

部(赤中学校との合同チーム)が出場しました。接戦の末、惜しくも1回戦敗退という結果となりましたが、最後まで必死にプレーと応援をする選手たちの姿がありました。

若き英語力を競い合う

第1回福岡県中学生英語スピーチコンテスト

12月1日、糸島市で開催された「第1回福岡県中学生英語スピーチコンテスト」に勾金中学校から浦埜彩菜さん(1年)が出



▲「My dream」をテーマにスピーチする浦埜さん

場しました。筑豊地区27人の中から代表(4人)として出場した浦埜さんは、日ごろの練習の成果を十分に発揮し、流ちょうな英語のスピーチを行っていました。